

学位論文要約

カンボジア初等教員養成校における学生の
体育授業観の様態に関する研究

— 体育科教育法と教育実習の前後の変容に着目して —

広島大学大学院教育学研究科
教育学習科学専攻 教科教育学分野
健康スポーツ教育学領域

D185368 山平 芳美

1. 論文の構成

序章 問題の所在と研究の目的及び方法

第1節 問題の所在

第1項 「開発と平和のためのスポーツ」の概観

第2項 カンボジアにおける体育科教育とその課題

第3項 カンボジアの初等教員養成における課題

第2節 体育授業観や信念に関する先行研究の検討

第3節 本研究の目的

第4節 本研究の方法

第5節 本論文の構成

第1章 カンボジアの学校教育における体育とスポーツの概観

第1節 本章の目的

第2節 研究の方法

第3節 カンボジアにおける学校教育の体育とスポーツに関する先行研究

第1項 制度・組織に関連する研究

第2項 学習指導要領に関連する研究

第3項 課外活動に関連する研究

第4項 教員養成に関連する研究

第4節 カンボジアにおける学校教育の体育とスポーツに関する研究動向の考察

第1項 制度・組織に関連する研究についての考察

第2項 学習指導要領に関連する研究についての考察

第3項 課外活動に関連する研究についての考察

第4項 教員養成に関連する研究についての考察

第5節 カンボジアにおける学校教育の体育とスポーツに関する研究動向についてのまとめ

第2章 カンボジアにおける教員養成の概観

第1節 本章の目的

第2節 研究の方法・

第1項 論文の検索

第2項 論文の選定と手続き

第3節 カンボジアの教員養成に関する先行研究の概要

第4節 カンボジアの教員養成に関する考察

- 第1項 刊行年や研究の目的と結果について
- 第2項 調査対象と調査内容について
- 第3項 教員養成に関する課題について
- 第5節 カンボジアにおける教員養成についてのまとめ

第3章 カンボジアの初等教員養成カリキュラムにおける体育科教育法と教育実習

- 第1節 本章の目的
- 第2節 研究の方法
- 第3節 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」
 - 第1項 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」の概観
 - 第2項 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」における体育科教育法
 - 第3項 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」の体育科教育法とカンボジア王国小学校保健体育科指導要領
 - 第4項 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」における教育実習の概要
- 第4節 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」の特徴と課題の検討
- 第5節 「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」における体育科教育法と教育実習のまとめ

第4章 カンボジア初等教員養成段階における体育科教育法「前期」受講前後の体育授業観の様態と変容

- 第1節 本章の目的
- 第2節 研究の方法
 - 第1項 対象者
 - 第2項 質問紙調査
 - 第3項 調査期間
 - 第4項 分析方法と手順
 - 第5項 妥当性と信頼性
 - 第6項 倫理的配慮
 - 第7項 体育科教育法の指導目的と年間計画
- 第3節 結果
 - 第1項 体育科教育法（前）における体育授業観の様態

- 第2項 体育科教育法（後）における体育授業観の様態
- 第3項 体育科教育法（前）（後）における体育授業観の様態
- 第4項 分類された学生の体育授業観と被教育体験期における体育授業の実態

第4節 考察

- 第1項 指導要領の目的・目標に関連した体育授業
- 第2項 学習指導に着目した授業
- 第3項 体育科教育法（前）（後）における体育授業観の保持と変容

第5節 体育科教育法「前期」における体育授業観の様態と変容のまとめ

第5章 カンボジア初等教員養成段階における教育実習前後の体育授業観の様態と変容

第1節 本章の目的

第2節 研究の方法

- 第1項 対象者と調査時期
- 第2項 質問紙調査
- 第3項 質問紙の分析方法と分析の手順
- 第4項 体育授業観の変容の具体的な事例の抽出
- 第5項 インタビュー調査
- 第6項 X州初等教員養成校における教育実習
- 第7項 教育実習における体育授業の学習指導案例
- 第8項 倫理的配慮

第3節 結果

- 第1項 実習前と実習後における体育授業観の様態
- 第2項 実習前と実習後における体育授業観の保持と変容の事例
- 第3項 選定された教育実習生のインタビュー結果

第4節 考察

- 第1項 実習前と実習後における体育授業観の様態に関する考察
- 第2項 教育実習における体育授業観の変容の有無に関する考察
- 第3項 被教育体験期における体育授業の実態を踏まえた教育実習生の体育授業観

第5節 教育実習前後における体育授業観の様態と変容のまとめ

第6章 カンボジア初等教員養成段階の入門期における体育授業観の様態

第1節 本章の目的

第2節 研究の方法

第1項 対象者

第2項 質問紙調査と調査時期

第3項 分析方法と手順

第4項 妥当性と信頼性

第5項 倫理的配慮

第3節 PTTC 入門期の学生を対象とした体育授業観の様態に関する結果と考察

第4節 PTTC 入門期における体育授業観の様態に関するまとめ

第7章 カンボジア初等教員養成校の学生を対象とした体育授業観の形成過程

第1節 本章の目的

第2節 研究の方法

第1項 対象者の選定

第2項 インタビューの調査内容

第3項 インタビューの分析手続き

第4項 倫理的配慮

第3節 結果

第1項 被教育体験期における体育授業観の形成過程について

第2項 初等教員養成カリキュラムを通じた体育授業観の形成過程について

第3項 概念・サブカテゴリー・カテゴリー間の関係

第4節 考察

第1項 出来事

第2項 時期・時機

第3項 境遇・状況

第5節 カンボジア初等教員養成校の学生を対象とした体育授業観の形成過程に関するまとめ

終章 本研究における総括と今後の課題

第1節 本研究の総括

第2節 本研究の成果

第3節 カンボジア初等教員養成カリキュラムの検討

第4節 本研究の課題と限界性

付記, 引用・参考文献, 資料, 謝辞

2. 本研究の背景

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機として、日本は2014年から Sport for Tomorrow (以下「SFT」と略す) 事業に取り組んでいる。SFTのような日本における「開発と平和のためのスポーツ (Sport for Development and Peace : 以下「SDP」と略す)」に関する活動や研究は、近年盛んに議論されるようになった (小林, 2014)。そのような中、国連は、2005年を「スポーツと体育の国際年」と定め、また、2015年には、「体育とスポーツに関する国際憲章」が「体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章」として継承された。世界的にみると、これまで国連関係機関を中心に SDP 分野は推進されている。

2005年「スポーツと体育の国際年」の影響を受け、日本の国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency : 以下「JICA」と略す) と NPO 法人 Hearts of Gold (以下「HoG」と略す) に体育科教育の支援を要請したのが、カンボジア王国 (以下「カンボジア」と略す) である (山口, 2014)。さらに、カンボジアは、2015年の「体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章」にそって、JICA と HoG の支援を受けながら中学校体育科学習指導要領も作成している (Hearts of Gold, 2017)。一方、カンボジアを対象とした体育科教育の支援事業が行われているものの、「未だ全ての小学校で年間 76 コマの体育授業を全学年が実施するまでに至っていない」(木村・山平, 2019, p.89) との報告もみられる。Martins et al. (2020) による、13 から 17 歳の生徒を対象とした、体育授業への参加に関する調査においても、体育授業に生徒が体育授業に参加していない割合の高い国として、カンボジアが挙げられている。このような現状はカンボジアに限定されたことではなく、Hardman (2014) は、全世界の体育授業の実施率は 71% に留まっていることを明らかにしており、体育授業が実施されない理由の 1 つに、校長や教師が体育に無関心であることを指摘している。つまり、体育授業における教師行動に変化がみられないと捉えられるが、この教師行動が変わらない理由として、小野 (2012) は、「授業は文化的な営みであり、何よりも教師の間で広く共有されている価値観・信念 (授業観・教師観・生徒観) に深く根ざしている」(p.213) ことを挙げている。したがって、開発途上国が抱える体育科教育の課題に対して、カンボジアを事例として、価値観や信念について学術的に検討していくことは肝要であろう。

ところで、カンボジアでは体育に限らず、教員の質も課題となっている (平山, 2007 ; Kong, 2017 ; 前田, 2003)。例えば、前田 (2014) は、「カンボジアの多数の教員に、教師として必要な資質能力が備わっていない」(p.83) と、教員養成の課題を挙げている。大矢 (2013) は、カンボジアにおける初等教育の体育に関する教材づくりを検討した際、「養成期間内に十分な知識・技能が養われているとは考えにくい」(p.156) と初等教員養成の体育に関する指摘をしている。つまり、前田 (2014) や大矢 (2013) が指摘している課題は、荻巣 (2013) のいうカンボジアにおける教師の力量の課題とも捉えられよう。この教師の力量と教員養成の課題に着目した場合、体育授業観^{注)} について検討した研究が散見される (嘉数, 2013 ; 嘉数・江藤, 2014 ; 嘉数・岩田, 2013 ; 住本, 2016)。

カンボジアが抱える体育授業に関する初等教員養成の課題に対して、教員を志望する学生が保持する体育授業観について把握していくことは喫緊の課題であろう。村田・渋谷（1999）は、東南アジアにおける比較教育学研究において、「対象国・地域の教育制度や行政システム、教育上のニーズをとらえることはもちろんであるが、それらの制度を支えている学校観や子ども観、民族と教育との関係など、文化的・社会的背景をも踏まえたうえで教育をとらえていく必要がある」（pp.59-60）と述べている。しかしながら、これまでカンボジアの社会的・文化的背景を踏まえ、初等教員養成校（Provincial Teacher Training College：以下、「PTTC」と略す）の学生を対象とした授業観について検討された研究は、管見の限り見当たらなかった。

3. 本研究の目的

本研究では、カンボジアにおける学校教育の体育とスポーツや教員養成の概観、そして初等教員養成カリキュラムを把握し、カンボジアにおける PTTC の学生を対象として、体育授業観の様態を明らかにすることを目的とした。とりわけ、体育科教育法と教育実習に着目して、体育授業観の様態を事例的に明らかにする。そして、これらの知見からカンボジアにおける PTTC の学生の体育授業観が、どのように形成されてきたのかについて明らかにする。

4. 本論文の構成と方法

本論文は、図 1 の通り、序章、第 1 章から第 7 章、終章で構成されている。

第 1 に、本研究で対象とするカンボジアの体育科教育や教員養成について把握するために文献研究やカリキュラムの整理を行った。第 1 章では、カンボジアの学校教育における体育やスポーツを検討する上で、どのような研究が行われてきたのか明らかにするために、梶本（2004）が国内外における学校体育の調査や研究を整理した中で提唱した枠組みを基に先行研究を分類し、カンボジアの体育科教育を支援してきた日本における研究動向を把握した。第 2 章では、カンボジアの教員養成に関する先行研究を概観し、そこから導出された課題を、興津（2018）の 6 つの視点に即して整理した。第 3 章では、初等教員養成カリキュラム「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授(12+2)」(MoEYS, 2011) に明記されている、体育科教育と教育実習の概要と位置付けについて解明した。

第 2 に、PTTC の学生の体育授業観の様態と形成過程について、自由記述の質問紙調査と半構造化インタビュー調査を用いて事例的に把握した。第 4 章から第 6 章では、初等教員養成カリキュラムにおける、体育科教育法「前期」の受講前後、教育実習の受講前後、体育科教育法「後期」受講後に着目した。山崎（2007）や嘉数・江藤（2014）の先行研究を参考にしてクメール語で作成した質問紙調査を、PTTC の学生を対象に実施した。質問紙調査結果は、NVivo12（QSR International 社）を用いてコーディングし、コード、サブカテゴリー、カテゴリーを生成した上で帰納的分類を行い、それらを PTTC1 年次の体育授業観として解釈することとした。第 7 章では、山崎（2002）の「転機」（p.19）

を援用し、1) 出来事、2) 時期・時機、3) 状況・境遇、の視点で、PTTC の学生にインタビュー調査を実施した。分析は、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (Modified-Grounded Theory Approach : 以下「M-GTA」と略す) を用いて分析し (木下, 2003, 2007), PTTC の学生を対象とした体育授業観の形成過程を把握した。

第4章から第7章は、JICA 草の根技術協力事業草の根パートナー型「小学校体育科教育 自立的普及に向けた人材及び体制構築のための事業」(Hearts of Gold, 2016) を通じて、MoEYS から認定を受け、体育科教育に関する研究指定校プレートが授与された X 州 PTTC を対象とすることとした。

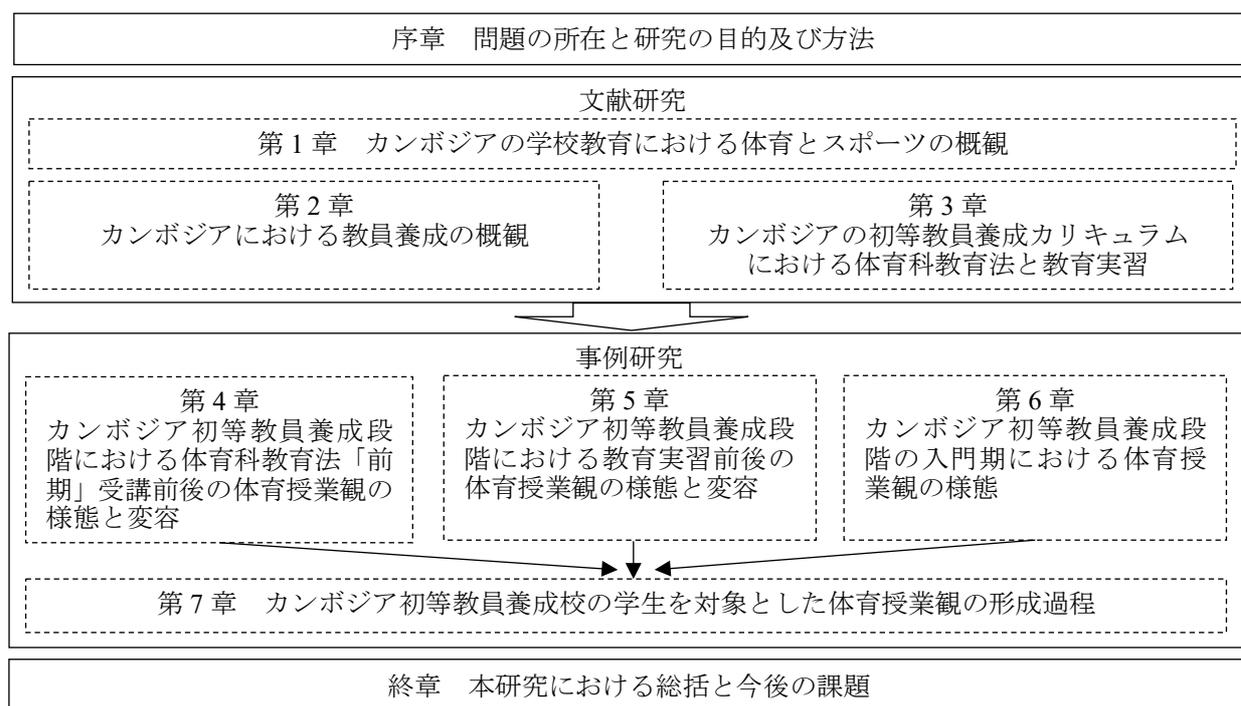


図1 本論文の構成

5. 結果

5. 1. カンボジアの学校教育における体育とスポーツの概観

カンボジアを対象とした学校教育の体育とスポーツに関する研究として選定された32編を、柁本(2004)が提唱した枠組みを基に分類した結果が表1である。日本におけるカンボジアを対象とした学校教育の体育とスポーツに関する研究は、4つに大別された。とりわけ、「カンボジア王国小学校保健体育科指導要領作成」(MoEYS, 2007)に関連して実施された、カンボジアの児童を対象とした「体格測定・体力テスト」に関する研究が最も多かった。制度組織に関連する研究と課題活動に関連する研究から、共通の課題として教員養成が挙げられ、これらの研究から導出された課題も踏まえて、教員養成に関連する研究の蓄積が期待されていた。

表1 カンボジアを対象とした学校教育の体育とスポーツに関する研究

対象領域 (編数)	項目 (編数)
制度・組織に関連する研究 (5 編)	「教育制度」に関する研究 (2 編)
	「教科としての体育の位置付け」に関する研究 (3 編)
学習指導要領に関連する研究 (19 編)	「体格測定・体力テスト」に関する研究 (17 編)
	「体育授業の教材」に関する研究 (2 編)
課外活動に関連する研究 (6 編)	「学校スポーツ」に関する研究 (4 編)
	「体育的行事」に関する研究 (2 編)
教員養成に関連する研究 (2 編)	「教員養成の体育科教育カリキュラム」に関する研究 (1 編)
	「初等教員の養成」に関する研究 (1 編)

5. 2. カンボジアにおける教員養成の概観

表2は、選定されたカンボジアの教員養成に関する論文14編を、興津(2018)が途上国の教員政策を把握する上で提示した、①教員供給、②公正な教員配置、③教員の量的拡大と質的確保のジレンマ、④教師教育に関する課題、⑤カリキュラム改革と教員、⑥教員を取り巻くガバナンス改革、の6つの視点に基づいて、カンボジアの教員養成の課題を分類したものである。その結果、④教師教育に関する課題が最も多く、また、教員養成における教育実習に関する先行研究がみられなかったことが、今後の研究課題として挙げられた。

表2 カンボジアの教員養成に関する課題

興津(2018)の6つの視点	著者(刊行年)
①教員供給	和田(2009)
②公正な教員配置	Khlok(2001), 森田ほか(2018), 和田(2013)
③教員の量的拡大と質的確保のジレンマ	石川ほか(2018), Khlok(2001), 和田(2010)
④教師教育に関する課題	安藤(2013), 平山(2010b), 光田(2019), 森本・村山(2011), 森田ほか(2018), 和田(2010, 2013), 山口(2012)
⑤カリキュラム改革と途上国の教員	安藤(2013), 平山(2010a, 2014), 山平ほか(2018)
⑥教員を取り巻く「ガバナンス改革」	安藤(2013), 平山(2010b), 石川ほか(2018), 森田ほか(2018), 和田(2009, 2013)

5. 3. カンボジアの初等教員養成カリキュラムにおける体育科教育法と教育実習

カンボジアの初等教員養成カリキュラムである「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授(12+2)」に明記されている、体育科教育の指導目的を表3に示した。体育科教育法の指導目的は、カンボジア王国小学校保健体育科の目的と同様に、態度、知識、技術、協調性の4つの観点で構成されていることが明らかになった。次に、体育科教育法の内容を表4と表5に示した。PTTC1年次では、小学校1年生から小学校3年生の指導法、PTTC2年次では、小学校4年生から小学校6年生の指導法に関する講義を受けることが明らかになった。そして、初等教員養成カリキュラムに明記されている、教育実習の内容を表6に示した。PTTC1年次では6週間、PTTC2年次では8週間の教育実習が実施され、PTTC1年次では授業観察が2週間設けられていることが明らかになった。

表3 カンボジアの初等教員養成における体育科教育法の指導目的

体育科教育法の指導目的	
2年にわたる教員養成を修了した後、学生が以下のような教師となることを目指す。	
①各種目や各学年のレベルに合わせた、ゲームの方法、練習の方法、観戦の仕方、ルールについての重要な知識を身につける。	
②体育科教育法の練習やゲームで心身共に健康状態を保つ方法や身体の構造について指導する能力を身につけ、その基本的な技術を学ぶ。	
③体育科教育法の実践において、スポーツやスポーツ選手に対する愛好的態度を育成する。	
④体育科教育法の実践において、協力し合い、学生が自信を持って参加し、互いに意見を交換したり考えたり、満足いく活動ができるよう、自信と敬意を込めて取り組ませる。	

「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授 (12+2)」(MoEYS, 2011) より筆者が編集

表4 カンボジアの初等教員養成における体育科教育法 PTTC1 年次の内容

PTTC1 年次前期：30 時間		PTTC1 年次後期：30 時間	
項目	時間	項目	時間
1. 理論と実践 (1年生から3年生)	10	1. 基本運動 (1年生から3年生)	9
①カリキュラム学習：体育科の意義・体育科学習の探求と理解	2	①器械体操 (鉄棒運動・縄跳び) (各学年1時間)	3
②年間計画：体育科における年間計画の観点・年間計画作成の実践	2	理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)	
③単元計画：体育科における単元計画の観点・単元計画作成の実践	2	②陸上運動(跳ぶ・投げる) (各学年1時間)	3
④学習指導案：体育科における学習指導案作成の観点・学習指導案作成の実践	2	理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)	
⑤時間割作成：時間割作成の観点・時間割作成の実践	2	③水泳 (各学年1時間)	3
		理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)	
2. 基本運動 (1年生から3年生)	9	2. ボール遊び (1年生から3年生)	9
①リズムに合わせた運動 (各学年1時間)	3	①バスケットボール (各学年1時間)	3
理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)		理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)	
②器械体操 (マット・飛び越え運動) (各学年1時間)	3	②バレーボール (各学年1時間)	3
理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)		理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)	
③陸上運動 (跳ぶ・投げる) (各学年1時間)	3	③サッカー (各学年1時間)	3
理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)		理論の学習 (15分)・運動施設での実践 (45分)	
3. 体力テスト (1年生～3年生)	3	3. 体力テスト (1年生～3年生)	3
①上体起こし	1	①50m 走	1
②長座体前屈	1	②立ち幅跳び	1
③反復横とび	1	③5分間走	1
4. 研究授業学習 (グループ学習)	8	4. 研究授業学習 (グループ学習)	8
①各学年段階に合わせた学習	4	①各学年段階に合わせた学習	4
②グループ実践 (模擬授業)	4	②グループ実践 (模擬授業)	4
		5. スポーツクラブ	1

「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授 (12+2)」(MoEYS, 2011) より筆者が編集

表5 カンボジアの初等教員養成における体育科教育法 PTTC2 年次の内容

PTTC2 年次前期：30 時間		PTTC2 年次後期：13 時間	
項目	時間	項目	時間
1. 理論と実践（4年生から6年生）	5	1. ボールゲーム（4年生から6年生）	9
①カリキュラム学習：体育科の意義・体育科学 習の探求と理解	1	①バスケットボール 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	3
②年間計画：体育科における年間計画の観点・ 年間計画作成の実践	1	②バレーボール 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	3
③単元計画：体育科における単元計画の観点・ 単元計画作成の実践	1	③サッカー 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	3
④学習指導案：体育科における学習指導案作成 の観点・学習指導案作成の実践	1		
⑤時間割作成：時間割作成の観点・時間割作成 の実践	1		
2. 基本運動（4年生から6年生）	21	2. 研究授業学習（グループ学習）	4
①リズムに合わせた運動 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	3	①各学年段階に合わせた学習	2
②器械体操（マット運動・障害物ジャンプ・鉄 棒・長縄） 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	6	②グループ実践（模擬授業）	2
③陸上運動（歩く・走る・跳ぶ・投げる） 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	6		
④水泳 理論の学習（15分）・運動施設での実践（45 分）	6		
3. 体力テスト（4年生から6年生）	3		
①上体起こし	1		
②長座体前屈	1		
③反復横とび	1		
4. 研究授業学習（グループ学習）	1		
①各学年段階に合わせた学習			
②グループ実践（模擬授業）	1		

「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」（MoEYS, 2011）より筆者が編集

表6 初等教員養成カリキュラムに明記された教育実習の内容

1. 教育実習の目的
1) 教育実習生が、教員養成学校で学んだ理論と小学校での実践を結びつけることによって、教師の基礎的専門性を身につける訓練を受ける機会を設ける。同時に、教員養成課程により、教育実習生が、基礎的知識を蓄え引き続き自己研鑽していく手段を身につけるために、授業における観察及び実践を通じて教師の専門性を理解する機会を設ける。
2) 教育実習生が良心及び強い責任感を有する優れた教師となれるよう、実習生に教師の専門的技能を身につけさせる。
3) 質の高い教師を養成するために、教員養成校及び小学校がより良く協力する機会を提供する。
4) 教員養成学校における2年間の訓練を受けた後、適宜改善を行うため、教育実習生の専門的能力を評価する。
2. 教育実習：14 週間
1 年次は6週間で、2段階に分けられている：
・観察段階は2週間である。
・中間的な実践段階は4週間である。
2 年次は8週間あり、1段階となっている：
・最終的な実践段階
この最終的な実践段階で、教育実習生は、小学校の第1学年、第2学年、第3学年で4週間教え、第4学年、第5学年、第6学年で4週間教えなければならない。

「教員養成プログラム基礎レベル 小学校における教授（12+2）」（MoEYS, 2011）より筆者が編集

5. 4. カンボジア初等教員養成段階における体育科教育法「前期」受講前後の体育授業観の様態と変容

分析対象は、X 州 PTTC1 年次の 27 名が質問紙に回答した自由記述とした。NVivo12 (QSR International 社) を活用して、〈コード〉、《サブカテゴリー》、【カテゴリー】を自由記述から生成した。表 7 は体育科教育法「前期」受講前、表 8 は体育科教育法「前期」受講後における体育授業観の〈コード〉、《サブカテゴリー》、【カテゴリー】ならびにその数と割合を示したものである。表 9 は、分類された学生各々の体育授業観を《サブカテゴリー》、【カテゴリー】毎に体育科教育法「前期」受講前と受講後で示した。体育科教育法「前期」受講前を上段に記し、体育科教育法「前期」受講後を下段に記した。また、被教育体験期における体育授業の調査結果を対応させた。体育授業を受けたと回答した学生は○、受けていないと回答した学生は×、覚えていないと回答した学生は△、無回答で表記した。

結果として、PTTC の学生を対象とした体育科教育法「前期」受講前後における体育授業観の様態は、カンボジア王国小学校保健体育科指導要領の目的や目標を包括した体育授業観、カンボジアの教育的な背景を内包しながら、教授行為や授業の運営に焦点をあてた体育授業観を保持していた。また、体育科教育法「前期」受講後に、【学習指導に着目した授業】の割合が 33.3%から 59.3%と増加がみられた。さらに、体育科教育法「前期」受講後における《体育授業の要件》の新たな生成は、体育科教育法「前期」の講義の影響があることが認められた。そして、初等教育段階において、体育授業を受ける機会に恵まれなかった、もしくは覚えていない場合、体育科教育法「前期」受講前に保持していた学生の体育授業観は漠然とした体育授業観であったとも推察され、体育授業観の再構築や変容が生じやすい傾向が示唆された。

表7 体育科教育法「前期」受講前における体育授業観の様態

カテゴリー	サブカテゴリー	コード	カテゴリー数 (割合)	サブ カテゴリー数	コード 数
指導要領の 目的・目標に関連 した授業	健康への寄与	健康への寄与	18 (66.7%)	7	2
		健康への寄与と体操			1
		心身の健康への寄与とスポーツ			3
		健康への寄与と運動			1
	知的機能	知的機能の発達と健康への寄与		3	
		知的機能の発達及び健康への寄与とスポ ーツ		2	
	精神面	精神的な発達と健康への寄与		1	
		精神的な発達と体操		1	
		精神的な発達及び健康への寄与とスポ ーツ		1	
	技能面	基礎的技能の獲得		1	1
社会的能力	良好な人間関係の構築と健康への寄与	1			
	良好な人間関係の構築及び知的機能の発 達と健康への寄与	1			
学習指導に 着目した授業	教師中心	教師が主導で行う運動	9 (33.3%)	3	1
		教師が主導で身につく技能			1
		教師が主導で目指す心身の健康への寄与			1
	児童への配慮	児童と教師の参加		1	
		児童の発育・発達や自己の能力への配慮		2	
		児童が楽しめる授業と健康への寄与		2	
	運動量の確保	汗をかくほどの運動量		1	1
合計			27		

表8 体育科教育法「前期」受講後における体育授業観の様態

カテゴリー	サブカテゴリー	コード	カテゴリー数 (割合)	サブ カテゴリー数	コード 数
指導要領の 目的・目標に関連 した授業	健康への寄与	健康への寄与	11 (40.7%)	3	2
		心身の健康への寄与とスポーツ			1
		知的機能の発達と健康への寄与			2
	知的機能	知的機能の発達及び健康への寄与と運動		1	
		スポーツが健康に与える効果の認知		2	
	社会的能力	良好な人間関係の構築及びスポーツがで きることとその認知		1	
		運動習慣及び認知と心身の調整と良好な 人間関係の構築		1	
愛好的態度	愛好的態度の育成とスポーツ	1	1		
学習指導に 着目した授業	教師中心	教師が主導で行う運動	16 (59.3%)	2	1
		教師が主導で行うスポーツ			1
	児童への配慮	児童と教師の参加		1	
		児童が楽しめる授業と健康への寄与		2	
		教師による配慮と積極的に参加する児童		1	
		児童との関係構築と健康への寄与		1	
		遊び中心		1	
体育授業の要件	遊びと心の健康への寄与	1			
	スポーツ用具が充実した環境	1			
	教師による配慮と適切な服	1			
	適切な運動と適切な服	1			
運動量の確保	適した天候での実施	1			
運動量の確保	汗をかくほどの運動量	3	3		
合計			27		

表9 分類された体育科教育法「前期」受講前後の体育授業観と被教育体験期における体育授業

学生	カテゴリー	サブカテゴリー	初等教育段階 体育授業	前期中等教育段階 体育授業	後期中等教育段階 体育授業
A	指導要領の目的・目標に関連した授業	精神面	△	×	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能			
B	指導要領の目的・目標に関連した授業	精神面	○	○	○
	学習指導に着目した授業	運動量の確保			
C	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	○	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能			
D	学習指導に着目した授業	教師中心	×	○	○
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			
E	学習指導に着目した授業	児童への配慮	×	○	○
	学習指導に着目した授業	体育授業の要件			
F	学習指導に着目した授業	教師中心	○	○	○
	学習指導に着目した授業	体育授業の要件			
G	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	×	×	×
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			
H	指導要領の目的・目標に関連した授業	社会的能力	○	○	○
	学習指導に着目した授業	運動量の確保			
I	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能	△	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与			
J	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	×	○	○
	学習指導に着目した授業	運動量の確保			
K	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	○	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与			
L	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能	○	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与			
M	学習指導に着目した授業	児童への配慮	×	○	○
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			
N	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能	×	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	社会的能力			
O	指導要領の目的・目標に関連した授業	精神面	×	○	○
	学習指導に着目した授業	教師中心			
P	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能	×	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	社会的能力			
Q	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	×	○	○
	学習指導に着目した授業	教師中心			
R	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	○	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能			
S	学習指導に着目した授業	教師中心	○	○	×
	学習指導に着目した授業	体育授業の要件			
T	指導要領の目的・目標に関連した授業	技能面	○	○	○
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			
U	学習指導に着目した授業	児童への配慮	×	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	愛好的態度			
V	学習指導に着目した授業	児童への配慮	×	○	○
	学習指導に着目した授業	体育授業の要件			
W	指導要領の目的・目標に関連した授業	社会的能力	×	無回答	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能			
X	学習指導に着目した授業	児童への配慮	○	○	○
	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能			
Y	指導要領の目的・目標に関連した授業	健康への寄与	△	○	○
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			
Z	指導要領の目的・目標に関連した授業	知的機能	○	○	○
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			
AA	学習指導に着目した授業	運動量の確保	○	○	○
	学習指導に着目した授業	児童への配慮			

5. 5. カンボジア初等教員養成段階における教育実習前後の体育授業観の様態と変容

分析対象は、X州 PTTC1 年次の 26 名が質問紙に回答した自由記述とした。自由記述から、〈コード〉、《サブカテゴリー》、【カテゴリー】を生成した。表 10 は教育実習前、表 11 は教育実習後における体育授業観の〈コード〉、《サブカテゴリー》、【カテゴリー】ならびにその数と割合を示したものである。

PTTC1 年次の教育実習生を対象とした教育実習前と教育実習後における体育授業観は、カンボジア王国小学校保健体育科指導要領の目的・目標である態度、知識、技術、協調性、習慣を包括した体育授業観と、教師が中心で授業を行うこと、児童に配慮した授業であること、体育授業の要件を整えたり、運動量が確保されたりと、授業行為や授業運営に焦点をあてた体育授業観であった。とりわけ、カンボジア王国小学校保健体育科指導要領が改定されて間もないカンボジアでは、教育実習生の多くが体育授業の心身に対する効果的特性に着目した体育授業観を保持していた。また、カンボジアの教育実習生は、教育実習の体育授業に参加する実際の児童の様相から、教育実習後に児童が楽しめる授業を認識する変容が示唆された。カンボジアの教育実習生は教育実習後に、日本の教育実習生同様、児童が技能を身につけられる体育授業を目指すという変容がみられた。

表 10 教育実習生の教育実習前における体育授業観の様態

カテゴリー	サブカテゴリー	コード	カテゴリー数 (割合)	サブ カテゴリー数	コード 数	
指導要領の 目的・目標に 関連した 授業	健康への寄与	健康への寄与	10 (38.5%)	2	1	
		心身の健康への寄与とスポーツ			1	
	知的機能	知的機能の発達と健康への寄与		5	5	2
		知的機能の発達及び健康への寄与と運動				1
		スポーツが健康に与える効果の認知				2
	社会的能力	良好な人間関係の構築及びスポーツができること とその認知		2	2	1
		運動習慣及び認知と心身の調整と良好な人間関係 の構築				1
		愛好的態度				1
	教師中心	教師が主導で行う運動		2	2	1
		教師が主導で行うスポーツ				1
学習指導に 着目した 授業	児童への配慮	児童と教師の参加	16 (61.5%)	7	1	
		児童が楽しめる授業と健康への寄与			2	
		教師による配慮と積極的に参加する児童			1	
		児童との関係構築と健康への寄与			1	
		遊び中心			1	
	体育授業の要件	遊びと心の健康への寄与		4	4	1
		スポーツ用具が充実した環境				2
		教師による配慮と適切な服				1
運動量の確保	適切な運動と適切な服	3	3	1		
合計			26		3	

表 11 教育実習生の教育実習後における体育授業観の様態

カテゴリー	サブカテゴリー	コード	カテゴリー数 (割合)	サブ カテゴリー数	コード 数
指導要領の 目的・目標に 関連した 授業	健康への寄与	心の健康への寄与	9 (34.6%)	3	1
		心身の健康への寄与			1
		健康への寄与と精神的な発達			1
		知的機能			1
		知的機能の発達と精神的な発達			1
学習指導に 着目した 授業	児童への配慮	精神面	17 (65.4%)	14	1
		精神的な発達と技能の獲得			1
		体育の認識			4
		教師中心			2
		教師が主導で身につく知識と態度			1
		教師が主導で目指す愛好的態度と健康への寄与			1
		児童が楽しめる授業			1
		児童が楽しめる授業と健康への寄与			1
		児童が楽しめる授業とスポーツによる健康への寄与			1
		児童が楽しめる授業と知的機能の発達			1
		児童が楽しめる授業と運動習慣			1
		児童がスポーツをできることと健康への寄与			2
		児童がスポーツをできることと良好な人間関係の構築			1
		児童がスポーツをできること及び健康への寄与と良好な人間関係の構築			1
		児童が興味を持って参加するスポーツを中心とした授業			2
		児童の意欲と精神的な発達			1
		児童への寄与			1
学習意欲の喚起	1				
体育授業の要件	体育の教材への着目	1	1		
合計			26		

5. 6. カンボジア初等教員養成段階の入門期における体育授業観の様態

分析対象は、X州 PTTC1 年次の 28 名が質問紙に回答した自由記述とした。自由記述から、〈コード〉、《サブカテゴリー》、【カテゴリー】を生成した。表 12 は体育科教育法「後期」受講後における体育授業観の〈コード〉、《サブカテゴリー》、【カテゴリー】ならびにその数と割合を示したものである。

PTTC の学生は、入門期において【指導要領の目的・目標に関連した授業】と【学習指導に着目した授業】に関する考えを保持していた。とりわけ、PTTC 入門期では、《児童への配慮》に関する考えを多く有していたことが特徴であった。また、体育科教育法「前期」と体育科教育法「後期」の受講や教育実習の経験があるものの、PTTC 入学当初と同様の《健康への寄与》の考えが生成され続けていた。つまり、初等教員養成カリキュラムにおける学びを通して、《健康への寄与》に関する考えをより強化させた学生が存在しているといえる。体育授業には教具や環境を整える必要があるという考えである《体育授業の要件》の生成は、体育科教育法「後期」の講義の影響が示唆された。

表 12 PTTC 入門期における体育授業観の様態

カテゴリー	サブ カテゴリー	コード	カテゴリー数 (割合)	サブ カテゴリー数	コード 数			
指導要領の 目的・目標に関連 した授業	健康への寄与	健康への寄与	11 (39.3%)	4	2			
		心身の健康への寄与			1			
		健康への寄与とスポーツ			1			
	知的機能	知的機能の発達と健康への寄与			1	1		
	社会的能力	良好な人間関係の構築			1	1		
	態度	態度の育成と健康への寄与			1	1		
	体育の認識	体育の認識と健康への寄与			4	1		
		体育の認識及び運動習慣と健康への寄与			3			
	学習指導に着目 した授業	教師中心			教師が主導で目指す健康への寄与	17 (60.7%)	11	1
		児童への配慮			児童が楽しめる授業と健康への寄与			3
児童が楽しめるスポーツを中心とした授業と健康への寄与			1					
児童が興味を持つ授業と健康への寄与			1					
児童がスポーツをできることと健康への寄与			1					
スポーツを中心とした授業			2					
児童が興味を持って参加するスポーツを中心とした授業			2					
体育授業の要件		児童への寄与	1					
		教具が充実した環境	2					
		児童が興味を持って参加する教具が揃った授業	5	2				
		体育授業の時間と児童への配慮			1			
合計			28					

5. 7. カンボジア初等教員養成校の学生を対象とした体育授業観の形成過程

X 州 PTTC の学生 12 名を選定し、インタビュー結果を M-GTA で分析し、抽出された<概念>、[サブカテゴリー]、【カテゴリー】間の関係を、結果図として図 2 に示した。PTTC の学生は、被教育体験期において、【学校体育】のみならず、【学校スポーツ】の影響を受けながら体育授業観を形成してきたことが明らかになった。また、PTTC においても同様に、【スポーツ活動】による影響を受けながら体育授業観を形成している学生も一部存在していた。とりわけ、PTTC の学生は、体育授業観の形成において、教育実習の実践の時期・時機が影響していたと示唆された。そして、上級生との関わりが、PTTC の学生の体育授業観の形成に影響していると示唆された。

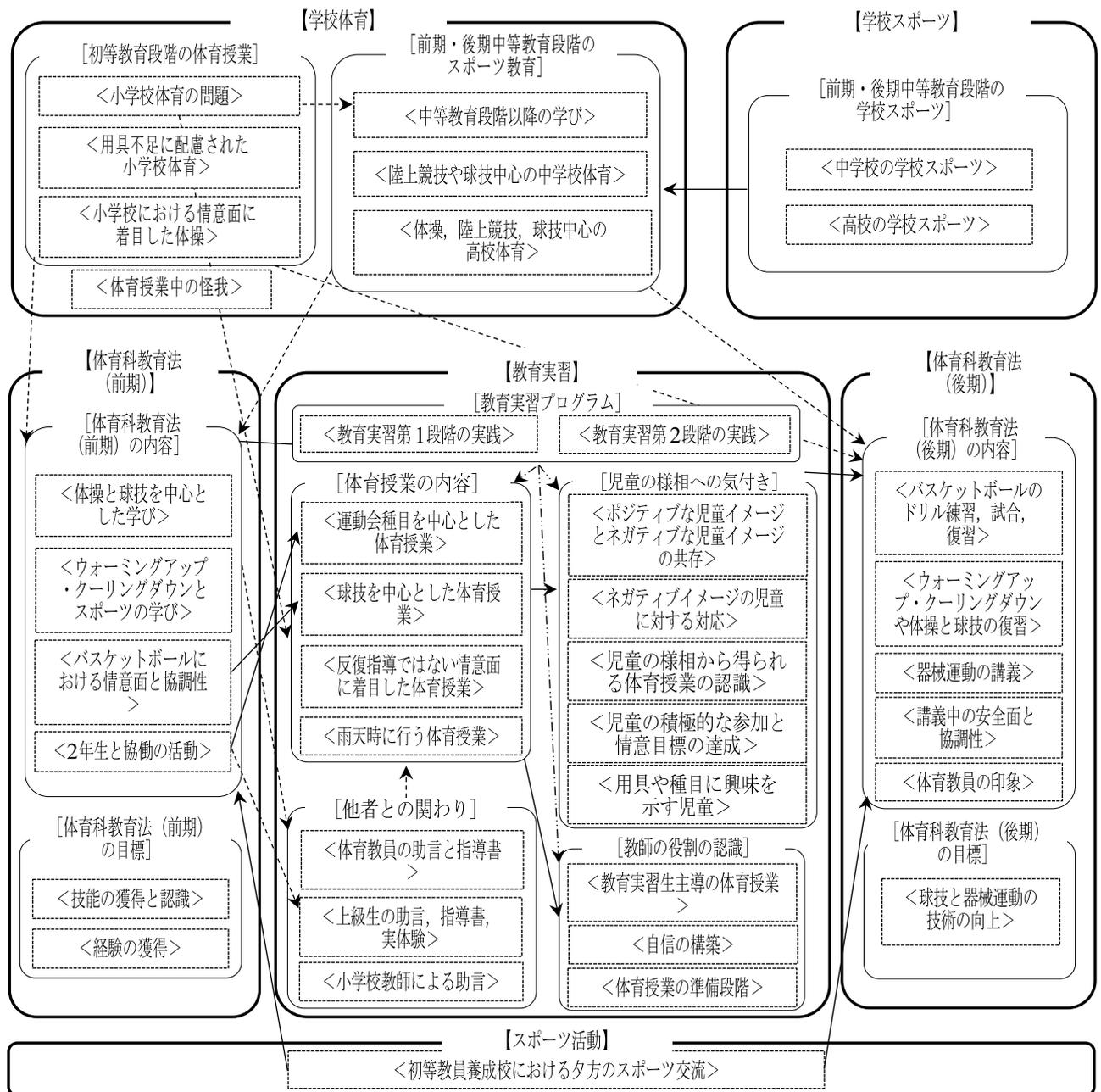


図2 概念・サブカテゴリー・カテゴリー間の関係

6. 本論文における総括と今後の課題

本研究では、カンボジアにおける学校教育の体育とスポーツや教員養成の概観、そして初等教員養成カリキュラムについて把握し、カンボジアにおける PTTC の学生を対象として、体育授業観の様態を明らかにすることを目的とした。本研究の成果が示唆するものとして、以下の4点に整理された。

- (1) カンボジアの初等教員養成カリキュラムにおける体育科教育法の内容として、PTTC1年次では小学校1年生から3年生の指導法について学び、PTTC2年次では小学校4年生から6年生の指導法について学ぶ構成となっていた。また、教育実習はPTTC1年次と2年次で実施され、1

年次のみ授業を観察する期間が設けられていたことが、特徴として挙げられた。

- (2) PTTC の学生の体育授業観は、PTTC 入学後、体育科教育法「前期」を受講することによって、カンボジア王国小学校保健体育科指導要領の目的や目標を包括した体育授業観から、カンボジアの教育的な背景を内包しながら、教授行為や授業の運営に焦点をあてた体育授業観に変容する傾向にあると考えられる。
- (3) 教育実習では、教育実習生が実際に体育授業を経験することで、児童が楽しむことができる体育授業を行いたいという考えや、児童が技能を身につけられるような体育授業を目指す考えへと、体育授業観が変容する傾向にあった。また、教育実習後に、体育授業が効果的であることを児童に認識してもらいたいという考えを新たに持つようになり、初等教員養成カリキュラムを通して、体育授業が重要な教科であるという考えを強固にしていっていったと考えられる。
- (4) PTTC の学生は、被教育体験期から、体育授業のみならず学校スポーツやスポーツ活動の影響を受けながら体育授業観を形成していたと考えられる。また、PTTC1 年次を対象とした場合、PTTC における上級生との関わりの中で体育授業観を変容させている可能性も示唆された。

本研究によって、カンボジアの初等教員養成カリキュラムにおける体育科教育法と教育実習の場面から、X 州 PTTC1 年次を対象に体育授業観の様態を事例的に解明することができた。一方、本研究では PTTC1 年次に対象が限定されていたため、PTTC2 年次を対象とした体育授業観の様態についても明らかにすることで、体育科教育法の内容の見直し、体育科教育法と教育実習の位置付けについて、さらに検討していくことが可能になると思われる。また、PTTC の 18 校中 2 校において、2 年制から 4 年制の学士化プログラムがスタートしている。順次 18 校の PTTC が学士化へと転換していく中で、新しい 4 年制の初等教員養成カリキュラムと 4 年間を通じた体育授業観の様態と変容について検討していくことは、今後の課題であろう。

注釈

- 注) 本研究においては、教員養成段階の学生を対象とした体育授業観の様態について検討した嘉数 (2013) に依拠し、「(1) どのような授業を目指しているのか、(2) どのような授業をよい授業と考えているか、(3) どのような授業の実現に価値を見出しているのか」(p.3) を、体育授業観として捉えることとする。

引用・参考文献

- 安倍大輔 (2006) 国連におけるスポーツ政策の展開－「スポーツと体育の国際年」に注目して－. 尚美学園大学総合政策研究紀要, (11) : 19-31.
- 秋田喜代美 (1996) 教える経験に伴う授業イメージの変容－比喻生成課題による検討－. 教育心理学研究, 44 (2) : 176-186.
- 安藤雅之 (2013) カンボジアにおける初等教育の現状と教員養成の課題. 常葉学園大学研究紀要. 教育学部, (33) : 63-89.
- 安藤雅之・大矢隆二 (2016) グローバル対応力を育成する「伝統・文化」教育の充実に関する考察－東京都の取り組みとカンボジアの学校教育を視座として－. 常葉大学教育学部紀要, (36) : 117-126.
- 朝倉雅史 (2016) 体育教師の学びと成長－信念と経験の相互影響関係に関する実証研究－. 学文社 : 東京.
- Borg, S. (2006) Teacher cognition and language education: Research and practice. Continuum, London, pp.36-39.
- Calderhead, J. (1996) Teachers : Beliefs and knowledge. In: Berliner, D. C., and Calfee, R.C. (Eds.), Handbook of educational psychology, Macmillan: New York, pp.709-725.
- 千葉義信 (2009) カンボジア王国における児童の体格・体力について評価基準値の算出(第2報). 運動とスポーツの科学, 15 (1) : 35-40.
- 千葉義信 (2010a) カンボジア国児童の体格・体力について居住地域による違い. 自然・人間・社会, (49) : 73-91.
- 千葉義信 (2010b) カンボジア王国における体格・体力について－評価基準値の算出(第3報)－. 自然・人間・社会, (48) : 57-68.
- 千葉義信 (2012a) 身長と 50m 走におけるカンボジアと日本の比較－西部地区 6 歳～12 歳の児童に着目して－. 科学/人間, (41) : 103-111.
- 千葉義信 (2012b) 身長と 50m 走におけるカンボジアと日本の比較－コンポンチャム州 6 歳～13 歳の児童に着目して－. 神奈川大学国際経営論集, (43) : 157-163.
- 千葉義信 (2012c) 身長と立ち幅とびにおけるカンボジアと日本の比較－コンポンチャム州 6 歳～13 歳の児童に着目して－. 自然・人間・社会, (52) : 163-173.
- 千葉義信・鍋谷照 (2011) 体力評価表作成の試み－11 歳カンボジア児童に着目して－. 運動とスポーツの科学, 17 (1) : 85-90.
- 千葉義信・鍋谷照・弘卓三 (2010) 日本, タイ, カンボジア 3 カ国の 12 歳から 15 歳の体格・体力比較. 運動とスポーツの科学, 16 (1) : 41-46.
- 千葉義信・鍋谷照・奥山靖彦 (2008) カンボジア王国における体格・体力について－日本との比較－.

- 運動とスポーツの科学, 14 (1) : 117-122.
- 千葉義信・鍋谷照・奥山靖彦 (2009) カンボジア王国における体格・体力測定について—評価基準値の作成について(第1報)—. 体育研究, (42) : 32-36.
- 千葉義信・鍋谷照・山口拓 (2010) カンボジア王国における体格・体力について—日本との比較(第2報)—. 体育研究, (43) : 21-25.
- 千葉義信・小山慎一・植屋清見 (2012) 都市部と農村部で生活するカンボジア児童の体格及び体力比較—コンポンチャム州9歳～11歳に着目して—. 帝京科学大学紀要, 8 : 127-133.
- 千葉義信・山口拓 (2011) カンボジア国児童の体格と体力との関係—11歳児を対象にした報告—. 体育研究, (44) : 43-46.
- 千葉義信・山口拓・KEO Sochetra・有森裕子・鍋谷照・MANN SETHA・SRUN Leang・MIV Sophal・CHHIM Samboeun・MANG Vivol・DOK Kirirath (2013) 研究上の問題提起 カンボジアでの体格測定・体力テスト—これまでの研究動向および研究成果について—. 体育研究, (46) : 26-30.
- 千葉義信・山口拓・鍋谷照 (2012) 身長と立ち幅とびにおけるカンボジアと日本の比較—小学校7歳～12歳の児童に着目して—. 体育研究, (45) : 5-8.
- Chróinín, D. N., and O'Sullivan, M. (2016) Elementary classroom teachers' beliefs across time: Learning to teach physical education. *Journal of Teaching in Physical Education*, 35(2): 97-106.
- Clayton, T. (1998) Building the new Cambodia: Educational destruction and construction under the Khmer Rouge, 1975-1979. *History of Education Quarterly*, 38(1): 1-16.
- コービン・ストラウス : 操華子・森岡崇訳 (2012) 質的研究の基礎—グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順(第3版)—. 医学書院 : 東京. <Corbin, J., and Strauss, A. (2008) *Basics of Qualitative Research: Techniques and Procedures for Developing Grounded Theory* (3rd ed.). Sage: Thousand Oaks.>
- Courtney, J. (2008) Do monitoring and evaluation tools, designed to measure the improvement in the quality of primary education, constrain or enhance educational development? . *International Journal of Educational Development*, 28(5): 546-559.
- Crawley, F. E., and Salyer, B. A. (1995) Origins of life science teachers' beliefs underlying curriculum reform in Texas. *Science Education*, 79(6): 611-635.
- Curtner-Smith, M. D. (1998) Influence of biography, teacher education, and entry into the workforce on the perspectives and practices of first-year elementary school physical education teachers. *European Journal of Physical Education*, 3(1): 75-98.
- Doolittle, S. A., Dodds, P., and Placek, J. H. (1993) Persistence of beliefs about teaching during formal training of preservice teachers. *Journal of Teaching in Physical Education*, 12 (4) : 355-365.
- Ford, M. I. (1994) Teachers' beliefs about mathematical problem solving in the elementary school. *School Science and Mathematics*, 94(6):314-322.

- 藤谷智啓・前林清和 (2005) カンボジアのスポーツ教育における現状と課題に関する調査研究－中等教育を中心に－. 身体運動文化論攷, 4 : 79-97.
- 深見俊崇・木原俊行 (2001) 授業イメージの変容－教育実習生に対する事前・事中・事後のインタビュー調査を通して－. 日本教育工学会大会講演論文集, 17 : 793-794.
- 深見俊崇・木原俊行 (2004) 他者との関わりによる教育実習生の実践イメージの変容. 日本教育工学会論文誌, 28 (1) : 69-78.
- 古山萌衣 (2014) カンボジアにおける障害者の現状と課題－身体障害を中心に－. 人間文化研究, (22) : 15-29.
- 外務省 (online) 後発開発途上国 (LDC : Least Developed Country). https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaikoo/hrlls/ldc_teigi.html, (参照日 2020 年 8 月 13 日).
- Graber, K. C. (1995) The influence of teacher education programs on the beliefs of student teachers: General pedagogical knowledge, pedagogical content knowledge, and Teacher Education course work. *Journal of Teaching in Physical Education*, 14(2): 157-178.
- 原祐一 (2016) カンボジア王国における小学校運動会政策に関する一考察－黎明期における教育省行政官の認識と普及課題－. 笹川スポーツ研究助成研究成果報告書 : 132-140.
- Hardman, K. (2014) *World-Wide Survey of School Physical Education: Final Report*. Paris: UNESCO.
- 林真 (2017) NVivo リファレンス－「定性データ」分析ソフトを使いこなす－. 工学社 : 東京.
- Hearts of Gold (online) 特定非営利活動法人 Hearts of Gold. <https://www.hofg.org>, (参照日 2020 年 3 月 13 日).
- Hearts of Gold (2016) ハート・オブ・ゴールド通信 vol.35. <http://hofg.sakura.ne.jp/archive/hgtsushin/newsletter35.pdf>, (参照日 2020 年 3 月 13 日).
- Hearts of Gold (2017) ハート・オブ・ゴールド通信 vol.36. <http://hofg.sakura.ne.jp/archive/hgtsushin/newsletter36.pdf>, (参照日 2020 年 3 月 13 日).
- 樋口麻里 (2017) 質的データ分析支援ソフトウェアの機能と背景にある考え方－Atlas.ti7 と NVivo11 の比較から－. 年報人間科学, (38) : 193-210.
- 姫野完治 (2013) 学び続ける教師の養成－成長観の変容とライフヒストリー－. 大阪大学出版会 : 大阪.
- 平山雄大 (2007) カンボジアにおける初等教育の現状と課題－教育の量の確保及び質の向上に着目して－. 早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊, (15-1) : 219-229.
- 平山雄大 (2010a) カンボジアにおける初等教員養成－初等教員養成カリキュラムの内容に着目して－. 早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊, (18-1) : 159-168.
- 平山雄大 (2010b) カンボジアにおける初等教員養成－初等教員養成機関 (州教員養成校) の現状に着目して－. 早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊, (18-2) : 167-177.

- 平山雄大 (2014) カンボジアの初等教員養成カリキュラムの質的向上に関する一考察—教科指導法を巡る諸課題を中心に—. 学術研究. 人文科学・社会科学編, (63) : 151-166.
- 雪吹誠・枝元香菜子 (2018) 初等体育科指導法の理解度と運動・スポーツの得意不得意及び好き嫌いとの関係. 目白大学高等教育研究, (24) : 101-109.
- 池田光功・松崎守利・相原豊・平田哲史 (2013) 教職を志す生涯スポーツ受講生の授業観に関する研究—教育学的含みを持たせた力の育成について考える—. 福岡教育大学紀要. 第5分冊, 芸術・保健体育・家政科編, (62) : 137-150.
- 稲田尚子 (2015) 尺度翻訳に関する基本指針. 行動療法研究, 41 (2) : 117-125.
- International Council of Sport Science and Physical Education : 日本体育学会学校体育問題検討特別委員会監訳 (2002) 世界学校体育サミット—優れた教科「体育」の創造をめざして—. 杏林書院 : 東京, pp.201-209.
- 石川佳歩・安藤美琴・山田真紀 (2018) カンボジアの保育の現状と課題 (2) —国立養成学校に通う学生と保育施設で働く保育者へのインタビュー調査から—. 椋山女学園大学教育学部紀要, 11 : 311-336.
- JICA (2016) 事業・プロジェクト事業評価. https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2016_1600198_1_s.pdf, (参照日 2020年3月13日).
- JICA (2017) カンボジア王国教員養成大学建設計画準備調査報告書 (簡易製本版). https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12301925_01.pdf, (参照日 2019年11月15日).
- JICA (2018) JICA「スポーツと開発」事業取り組み方針. https://www.jica.go.jp/activities/issues/sports/ku57pq00002lc8qo-att/policies_sports.pdf, (参照日 2020年3月1日).
- JICA (online1) JICAについて. <https://www.jica.go.jp/about/index.html>, (参照日 2019年5月13日).
- JICA (online2) 草の根技術協力事業. <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>, (参照日 2019年5月13日).
- JICA (online3) 草の根パートナー型って何?. <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/what/partner.html>, (参照日 : 2020年10月15日).
- JICA (online4) 技術協力プロジェクト. <https://www.jica.go.jp/project/index.html>, (参照日 2020年3月13日).
- JICA (online5) 草の根パートナー型. https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/partner/cam_24.html, (参照日 2019年5月13日).
- Kagan, D. M. (1992) Implications of research on teacher belief. *Educational Psychologist*, 27: 65-90.
- 貝塚乃梨子 (2014) カンボジアにおける国民意識の形成とその変容—1993年以降の初等社会科教育の分析から—. *AGLOS: Journal of Area-Based Global Studies*, (5) : 1-25.
- 嘉数健悟 (2013) 教員養成段階における体育授業観の様態に関する事例研究—教育実習を中心にして

- 一. 広島大学大学院教育学研究科博士論文.
- 嘉数健悟・江藤真生子 (2014) 体育教師志望学生の授業観の様態に関する研究―「教科の指導法に関する科目」の授業前後に着目して―. 九州体育・スポーツ学研究, 28 (2) : 1-11.
- 嘉数健悟・岩田昌太郎 (2013) 教員養成段階における体育授業観の変容に関する研究―教育実習の前後に着目して―. 体育科教育学研究, 29 (1) : 35-47.
- Karp, G.G., and Woods, M. L. (2008) Preservice teachers' perceptions about assessment and its implementation. *Journal of Teaching in Physical Education*, 27(3): 327-346.
- 片岡暁夫 (1982) 体育・スポーツ等に関する用語概念について. 日本体育学会大会号, 33 (0) : 15.
- 勝亦紘一・高橋亮三 (1979) 教育実習に関する調査研究―体育科実習を通しての授業観の変容―. 順天堂大学保健体育紀要, (22) : 16-27.
- Khlok Vichet Ratha (2001) カンボジアの教師教育に関する一考察―制度的な発展と養成基準―. 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要. 教育科学, 48 (1) : 57-70.
- 木原成一郎・村上彰彦 (2013) 体育授業の力量形成に関する一考察―小学校教諭 A のライフヒストリーにおける体育授業観を中心に―. 学校教育実践学研究, 19 : 247-258.
- 木村寿一・松井完太郎・岡田千あき (2006) カンボディア・シェムリアップ州におけるスポーツ講習会の開催と国際協力. 武道・スポーツ科学研究所年報, (12) : 203-209.
- 木村寿一・山平芳美 (2019) カンボジア王国における運動会に関する意識調査―プレア・シハヌーク州初等教員養成校の学生を対象に―. 国際武道大学研究紀要, (35) : 89-97.
- 木下康仁 (2003) グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践―質的研究への誘い―. 弘文堂 : 東京.
- 木下康仁 (2007) ライブ講義 M-GTA―実践的質的研究法修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチのすべて―. 弘文堂 : 東京.
- 木下康仁 (2020) 定本 M-GTA―実践の理論化をめざす質的研究方法論―. 医学書院 : 東京.
- 小林勉 (2014a) なぜスポーツを通じた国際開発か?. 清水諭編者, 現代スポーツ評論 31. 創文企画 : 東京, pp.36-51.
- 小林勉 (2014b) 国際開発とスポーツ援助―スポーツ援助の動向と課題―. スポーツ社会学研究, 22 (1) : 61-78.
- 小林勉 (2018) スポーツによる国際貢献の向こう側―スポーツ援助の先に何が起こるのか?―. アジア太平洋研究, (43) : 35-50.
- 国際開発高等教育機構 (2012) 草の根技術協力事業 事後調査 報告書―PartII案件別調査結果 A.カンボジア王国「小学校体育科指導書作成支援プロジェクト」「小学校体育科教育振興プロジェクト」―. 独立行政法人国際協力機構 (JICA) : pp.9-33.
- 国際連合広報センター (2016) スポーツと持続可能な開発 (SDGs). https://www.unic.or.jp/news_press

/features_backgrounders/18389/, (参照日 2020 年 3 月 1 日).

- Kong Eng (2017) カンボジアにおける教育制度の特色と進路形成に関する実証的考察. 神戸学院大学大学院博士論文.
- 広辞苑 (2018) 様態. 広辞苑第 7 版. 新村出編, 岩波書店: 東京, p.3016.
- 高阪将人・松原憲治 (2018) 我が国の理数科教育協力の実践と理数科教育開発研究の動向ーサブサハラ・アフリカを中心にー. 科学教育研究, 42 (2) : 100-111.
- 黒羽正見 (1999) 授業行為に表出する「教師の信念」に関する事例研究ーある小学校教師の挿話的語りに着目してー. 日本教科教育学会誌, 21 (4) : 27-34.
- Lortie, D. C. (1975) *Schoolteacher: A sociological study*. The university of Chicago Press: Chicago.
- 前田美子 (2003) カンボジアー負の遺産を背負う教師たちー. 千葉たか子編著, 途上国の教員教育ー国際協力の現場からの報告ー. 国際協力出版会: 東京, pp.30-64.
- 前田美子 (2014) カンボジアにおける教員養成の現状と課題ー教員の指導力不足と不正行為の問題を中心にー. 東京学芸大学教員養成カリキュラム開発センター編集, 教員養成と採用の接続に関する国際比較研究プロジェクト報告書. 芳文社: 東京, pp.82-91.
- 牧内健将・齊藤一彦・岩田昌太郎・八並孝行 (2017) ナイジェリアの体育事情に関する研究ー学校教育カリキュラム及び教員養成システムに着目してー. 教育学研究紀要, 63 (2) : 751-756.
- Martins, J., Marques, A., Peralta, M., Henriques-Neto, D., Costa, J., Onofre, M., and Valeiro, M. G. (2020) A Comparative Study of Participation in Physical Education Classes among 170,347 Adolescents from 54 Low-, Middle-, and High-Income Countries. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 17(15): 5579-5590.
- 榎本伸悦 (2004) 体育・スポーツ教育協力におけるプロジェクト内容・評価に関する考察ーラオス国の学校体育の現状調査を通してー. 国際協力研究誌, 10 (2) : 151-161.
- 榎本伸悦 (2012) スポーツによる国際協力ー国連機関の開発援助の歴史と意義ー. 広島経済大学研究論集, 35 (2) : 53-64.
- Matanin, M., and Collier, C. (2003) Longitudinal analysis of preservice teachers' beliefs about teaching physical education. *Journal of Teaching in Physical Education*, 22(2): 153-168.
- メリアム: 堀薫夫・久保真人・成島美弥訳 (2004) 質的調査法入門ー教育における調査法とケース・スタディーー. ミネルヴァ書房: 京都. <Merriam, S. B. (1998) *Qualitative research and case study applications in education* (2nd ed.) Jossey-Bass: San Francisco.>
- 三島知剛 (2008) 教育実習生の実習前後の授業観察力の変容ー授業・教師・子どもイメージの関連による検討ー. 教育心理学研究, 56 (3) : 341-352.
- 光田尚美 (2019) 研修報告 カンボジアの公立小学校を訪問して. 近畿大学教育論叢, 31 (1) : 181-196.

- MoEYS (2004) Policy for curriculum development 2005-2009. Ministry of Education, Youth and Sport: Phnom Penh.
- MoEYS (2007) National Curriculum of Physical, Health and Sport Education for Primary school 2006-2007. Ministry of Education, Youth and Sport / Department of Physical Education and Sport for Student, Phnom Penh.
- MoEYS (2011) Provincial Teacher Training College curriculum: Basic Education Teach at Primary School 12+2. Ministry of Education, Youth and Sport / Teacher Training Department, Phnom Penh.
- MoEYS (2014) Education Strategy Plan 2014-2018. Ministry Education, Youth and Sport : Phnom Penh.
- MoEYS (2015) Teacher Policy Action Plan 2015-2020, Ministry of Education, Youth and Sport, Phnom Penh.
- 森本弘一・村山哲也 (2011) カンボジア生物教育における探究型授業の導入. 生物教育, 52 (1) : 13-19.
- 森田勝也・間々田和彦・山本春輝・稲葉芳成・河崎哲嗣 (2018) カンボジアにおける学習支援 (算数・数学教育) に向けての現地調査. 岐阜大学教育学部研究報告. 教育実践研究・教師教育研究, 20 : 33-42.
- 盛藤陽子 (2019) イギリスの教員養成教育に関する研究の動向と展望 (1) - 日本における先行研究 (1990 年代から 2000 年代半ばまで) のレビューを通して -. 東京大学大学院教育学研究科紀要, (58) : 445-450.
- 守谷富士彦・大坂遊・桑山尚司・平田浩一・升谷英子・草原和博 (2018) カンボジア中学校社会科授業の現状と再生産の構造. 広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域, (67) : 75-84.
- Mullis, I.V.S., Martin, M. O., Ruddock, G. J., O'Sullivan, C. Y., and Preuschoff, C. (2009) TIMSS 2011 assessment frameworks. ChesnutHiss, MA : TIMSS PIRLS International Study Center, Boston College.
- 村田翼夫・渋谷恵 (1999) 比較教育学と地域研究 (1) - 東南アジア地域研究の立場から -. 比較教育学研究, (25) : 55-60.
- 永山貴洋 (2016) 小学校教員養成課程に在籍する大学生の体育授業についての認識論的信念の質的分析. 石巻専修大学研究紀要, (27) : 83-91.
- 日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会 (2017) ユネスコ「体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章」の監訳及びシンポジウムの開催. http://jaaspehs.com/wp/wp-content/uploads/2018/11/20170922_2-20170922.pdf#search='体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章', (参照日 : 2020 年 9 月 18 日).
- 荻巣崇世 (2013) カンボジアの「子ども中心」の教授法改革に対する教師の反応ー改革が内包する矛盾と教師の主体性に注目して -. 比較教育学研究, (47) : 79-99.
- 荻巣崇世 (2016) 教育実践を統べる学びの論理ーカンボジアの児童中心の教授法改革への示唆ー. 比

- 較教育学研究, (52) : 3-25.
- 荻巢崇世 (2018) カンボジアの教員政策－変わる教職－. 興津妙子・川口純編著, 教員政策と国際協力－未来を拓く教育をすべての子どもに－. 明石書店 : 東京, pp.52-68.
- 大橋美勝・小原信幸 (2008) カンボジアの国と体育事情. 岡山大学教育学部研究集録, 138(1) : 11-17.
- 岡田千あき (2004) 開発途上国における学校スポーツの現状－カンボディア王国シェムリアップ州の学校スポーツ調査－. 大阪外国語大学論集, (30) : 33-49.
- 岡田千あき (2005) 開発途上国におけるスポーツ活動の継続・非継続要因に関する研究－カンボディア王国の小学生を例に－. 運動とスポーツの科学, 11(1) : 17-22.
- 岡田千あき (2006) カンボディア王国の小学生のスポーツに対する意識と環境. 大阪外国語大学論集, (34) : 117-200.
- 岡田千あき (2015) 国際社会における「開発と平和のためのスポーツ」の 20 年－我が国のスポーツ・フォー・トゥモロー政策の発展に向けて－. 大阪大学大学院人間科学研究科紀要, 41 : 99-118.
- 岡田千あき・木村寿一 (2001) 国連機関による途上国スポーツ援助. 運動とスポーツの科学, 7(1) : 113-118.
- 岡田千あき・齊藤一彦 (2016) 「開発と平和のためのスポーツ」に関する課題整理－スポーツ・フォー・トゥモローの実現に向けて－. 運動とスポーツの科学, 22(1) : 1-7.
- 岡出美則 (2017) 教科教育の研究領域のとらえ方. 日本教科教育学会編, 教科教育研究ハンドブック－今日から役立つ研究手引き－. 教育出版 : 東京, pp.96-101.
- 興津妙子 (2018) 途上国における教員政策の分析視角－グローバルとローカルの相互作用－. 興津妙子・川口純編著, 教員政策と国際協力－未来を拓く教育をすべての子どもに－. 明石書店 : 東京, pp.20-48.
- 小野由美子 (2012) 教師教育とジェンダー. 菅野琴・西村幹子・長岡智寿子編著, ジェンダーと国際教育開発－課題と挑戦－. 福村出版 : 東京, pp.205-220.
- 大坂遊 (2017) 大学生の社会科観・授業構成力の形成過程とその要因－中等社会科教員養成カリキュラムに関する事例研究－. 広島大学大学院教育学研究科博士論文.
- 大谷尚 (2007) 4 ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCAT の提案－着手しやすく小規模データにも適用可能な理論化の手続き－. 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要. 教育科学, 54(2) : 27-44.
- 大谷尚 (2008) 質的研究とは何か－教育テクノロジー研究のいっそうの拡張をめざして－. 教育システム情報学会誌, 25(3) : 340-354.
- 大谷尚 (2011) SCAT : Steps for Coding and Theorization－明示的手続きで着手しやすく小規模データに適用可能な質的データ分析手法－. 感性工学, 10(3) : 155-160.

- 大谷尚 (2019) 質的研究の考え方ー研究方法論から SCAT による分析までー. 名古屋大学出版会: 名古屋.
- 大矢隆二 (2013) カンボジアにおける体育科教育の現状からみた教材づくりの意義ー初等教育の体育学習に着目してー. 常葉学園大学研究紀要. 教育学部, (33) : 149-161.
- Pajares, M. F. (1992) Teachers' beliefs and educational research: Cleaning up a messy construct. *Review of Educational Research*, 62(3): 307-332.
- Pajares, F. (1993) Preservice teachers' beliefs: A focus for teacher education. *Action in Teacher Education*, 15:45-54.
- Patton, M. Q. (1990) *Qualitative Evaluation Methods*. (2nd ed.). Sage: Thousand Oaks.
- Roux, C. J., and Dasoo, N. (2020) Pre-service teachers' perception of values education in the South African physical education curriculum. *South African Journal of Childhood Education*, 10(1): 1-8.
- 齊藤一彦 (2015) 学校体育の国際貢献. *体育科教育*, 63 (13) : 44-47.
- 齊藤一彦・横田知佳 (2018) ザンビアの身体教育事情に関する基礎的研究ー学校体育と体育教員養成に着目してー. *学校教育実践学研究*, (24) : 107-113.
- 笹島茂 (2009) 言語教師認知とは?. 笹島茂・ボグ著, *言語教師認知の研究*. 開拓社: 東京, pp.15-32.
- 佐藤仁 (2018) 教育借用から考える「場」としての規範的比較教育政策論の可能性. *比較教育学研究*, (57) : 13-31.
- 佐藤郁哉 (2008a) QDA ソフトを活用するー実践質的データ分析入門ー. 新曜社: 東京.
- 佐藤郁哉 (2008b) 質的データ分析法ー原理・方法・実践ー. 新曜社: 東京.
- 佐藤勝弘 (2004) 戦後の学校体育の潮流と現在の課題. *新潟医療福祉学会誌*. 4 (1) : 84-96.
- 佐藤学・秋田喜代美・岩川直樹・吉村敏之 (1991) 教師の実践的思考様式に関する研究-2-ー思考過程の質的検討を中心にー. *東京大学教育学部紀要*. 31 : 183-200.
- 佐藤学・岩川直樹・秋田喜代美 (1990) 教師の実践的思考様式に関する研究-1-ー熟練教師と初任教师のモニタリングの比較を中心にー. *東京大学教育学部研究紀要*. 30 : 177-198.
- 佐藤裕・西村清巳 (1978) 教育実習生の授業技術の変容過程と指導観の変容態様についての研究. *体育学研究*, 23 (2) : 121-128.
- 白石智也・岩田昌太郎・齊藤一彦 (2020) ウガンダ共和国における授業研究を用いた体育教員研修会の効果の検討ーNew World Kirkpatrick Model を適用した研修評価ー. *体育学研究*, 65 (0) : 125-141.
- シーデントップ: 前川峯雄監訳・高橋健夫訳 (1981) *楽しい体育の創造ープレイ教育としての体育ー*. 大修館書店: 東京. <Siedentop, D. (1976) *Physical Education: Introductory Analysis* (2nd ed.). Wm. C. Brown Company Publishers.>

- ボーグ (2009) 言語教師認知研究の課題. 笹島茂・ボーグ著, 言語教師認知の研究. 開拓社: 東京, pp.167-193.
- SPORT FOR TOMORROW (online) 活動レポート. <https://www.sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/report/>, (参照日 2020 年 8 月 14 日).
- 須甲理生・四方田健二 (2013) 体育教師が有する教師観に関する一考察—運動部活動指導者としての教師観から授業者としての教師観へ—. 日本女子体育大学紀要, 43 : 41-50.
- 住本純 (2016) 小学校教員養成段階における体育授業観の様態—短期大学児童教育学科を事例に—. 夙川学院短期大学研究紀要, 43 (43) : 18-26.
- 田中里佳 (2019) 教師の実践的知識の発達—変容的学習として分析する—. 学文社: 東京.
- Taylor, S. J., and Bogdan, R. (1984) Introduction to qualitative research methods. (2nd ed.). Wiley: New York.
- Tillema, H. H. (1998) Stability and Change in Student Teachers' Beliefs about Teaching. *Teachers and Teaching : theory and practice*, 4(2): 217-228.
- Tobin, K., and LaMaster, S. U. (1995) Relationships between metaphors, beliefs, and actions in a context of science curriculum change. *Journal of research in Science Teaching*, 32(3): 225-242.
- Tsangaridou, N. (2008) Trainee primary teachers' beliefs and practices about physical education during student teaching. *Physical Education and Sport Pedagogy*, 13(2): 131-152.
- 土屋智美 (2014) インフォメーション スポーツと国際開発を学べる大学院. 清水諭編者, 現代スポーツ評論 31. 創文企画: 東京, pp.144-150.
- 上野秀人 (2017) ユネスコの「体育・身体活動・スポーツ国際憲章」の比較検討. 弘前大学教育学部紀要, (117) : 65-71.
- 浮田咲子・金井茂夫・森本信雄 (2004) 日本とカンボジア人の足型について—16～18 歳を対象として—. *運動とスポーツの科学*, 10(1) : 49-55.
- UNESCO (2012) International Charter of Physical Education and Sport, 21 November 1978. <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000216489>, (Accessed 2020-09-14).
- UNESCO (2017) Kazan Action Plan. <https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000252725>, (Accessed 2020-09-18).
- United Nations (2015) Resolution adopted by the General Assembly on 25 September 2015. https://www.un.org/en/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/RES/70/1, (Accessed 2020-03-01).
- United Nations (2006) Report on the International Year of Sport and Physical Education (IYSPE 2005): Sport for a Better World. Geneva: United Nations.
- 海野勇三 (2010) 実践的指導力を育むための実践事例—5-1 自己の体育授業観を問い直す教科教育法の試み (山口大学での実践) —. 梅野圭史・海野勇三・木原成一郎・日野克博・米村耕平編著, 教師として育つ—体育授業の実践的指導力を育むには—. 明和出版: pp.44-49.

- 和田勝明 (2009) カンボジアの中等学校における英語教育およびその制度的背景概観. 研究紀要, (9) : 105-116.
- 和田勝明 (2010) カンボジアの英語教員養成. 研究紀要, (10) : 129-142.
- 和田勝明 (2013) カンボジアの英語教員養成(その2). 研究紀要, (13) : 89-102.
- Xiang, P., Lowy, S., and McBride, R. (2002) The impact of a field-based elementary physical education methods course on preservice classroom teachers' beliefs. *Journal of Teaching in Physical Education*, 21(2): 145-161.
- 山口拓 (2012) カンボジアにおける教育政策に関する一考察ー体育科教育の普及課題ー. 体育学研究, 57 (1) : 297-313.
- 山口拓 (2014) カンボジアの事例からみる日本型支援の方向性. 清水論編者, 現代スポーツ評論 31. 創文企画 : 東京, pp.102-109.
- 山口拓・千葉義信・土屋智美 (2014) カンボジア王国における体育科教育の変遷 Iー近代教育導入期 (1863～1953年) における体育・スポーツの系譜ー. 筑波大学体育系紀要, 37 : 53-62.
- 山平芳美・木村寿一 (2016) インターネットを利用した身体運動に関する動画の情報提供ーカンボジアにおける小学校体育の支援活動についてー. 国際武道大学研究紀要, (31) : 93-103.
- 山平芳美・木村寿一・齊藤一彦・白石智也 (2020) カンボジアの初等教員養成段階における体育授業観の様態に関する研究ー特に「体育科教育法」受講前後の変容に着目してー. 運動とスポーツの科学, 25 (2) : 71-84.
- 山平芳美・齊藤一彦・白石智也 (2018) カンボジアの初等教員養成における体育科教育法の現状と課題ーシハヌークビル州とカンポット州の事例ー. 広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域, (67) : 269-278.
- 山崎敬人 (2007) 理科教師の専門的力量的向上を目指した教師教育の改善に関する研究(課題番号 15500592). 平成 15 年度～平成 18 年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 研究成果報告書. 広島大学大学院教育学研究科山崎敬人.
- 山内賢・武藤三千代・平田大輔・渡部鎌二 (2004) カンボジア・シュムリアップ州の青少年における生活習慣と体力の関係(その1)身体活動と体力について. 体育研究所紀要, 43 (1) : 37-44.
- 山崎準二 (2002) 教師のライフコース研究. 創風社 : 東京.
- 四方田健二・須甲理生・荻原朋子・浜上洋平・宮崎明世・三木ひろみ・長谷川悦示・岡出美則 (2013) 小学校教師の体育授業に対するコミットメントを促す要因の質的研究. 体育学研究, 58 (1) : 45-60.
- 吉崎静夫 (1997) デザイナーとしての教師アクターとしての教師. 金子書房 : 東京.